

ルーミス米国投資適格債券ファンド [毎月決算型]

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の米ドル建て公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2021年10月21日～2022年4月20日

第217期	決算日：2021年11月22日	
第218期	決算日：2021年12月20日	
第219期	決算日：2022年1月20日	
第220期	決算日：2022年2月21日	
第221期	決算日：2022年3月22日	
第222期	決算日：2022年4月20日	
第222期末 (2022年4月20日)	基準価額	8,501円
	純資産総額	5,448百万円
第217期～ 第222期	騰落率	1.9%
	分配金合計	90円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

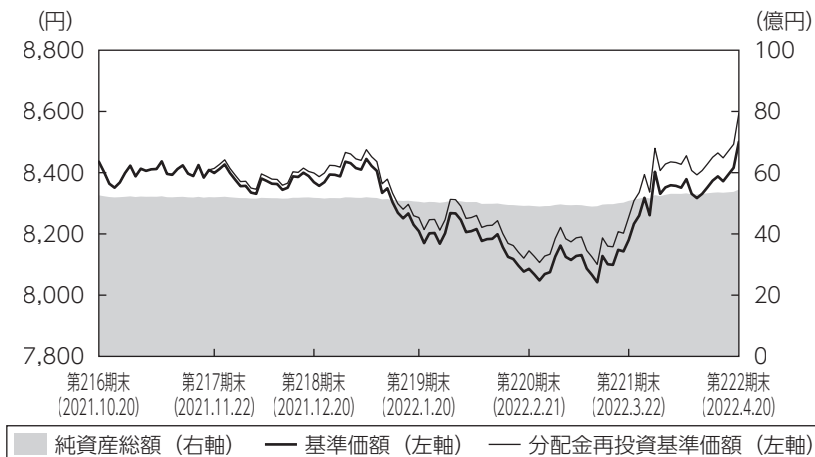
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第217期首： 8,436円
 第222期末： 8,501円
 (既払分配金90円)
 騰落率： 1.9%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「ルーミス米国投資適格債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、米国の米ドル建て投資適格債券に投資を行った結果、米ドルが対円で上昇したことなどから、基準価額(税引前分配金再投資ベース)は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第217期～第222期		項目の概要
	(2021年10月21日 ～2022年4月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	61円	0.740%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,294円です。
(投信会社)	(34)	(0.411)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(25)	(0.301)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.021	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.020)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	63	0.761	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

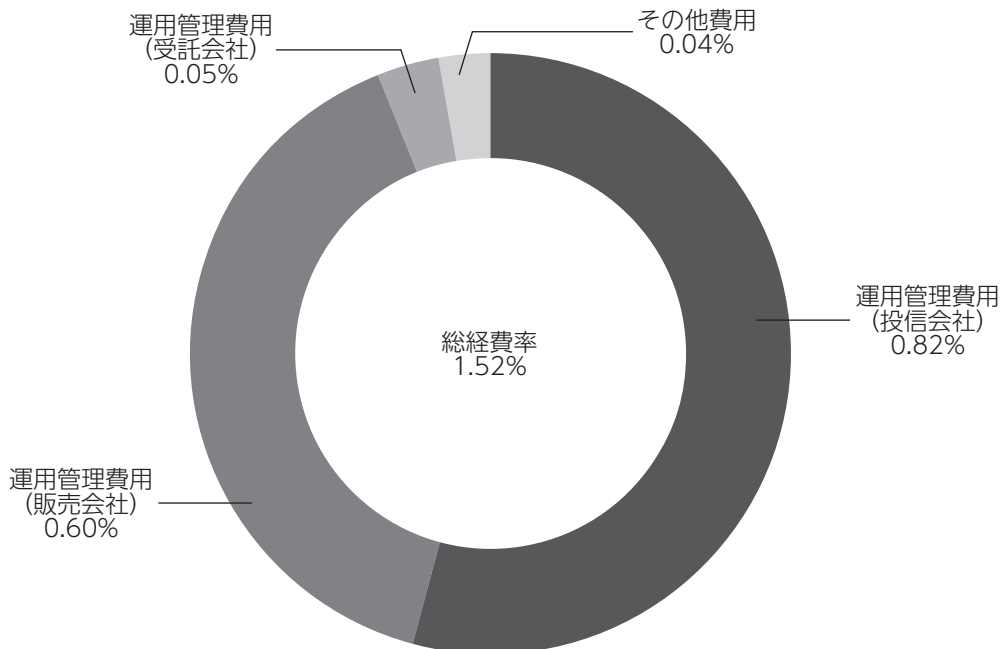
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.52%です。



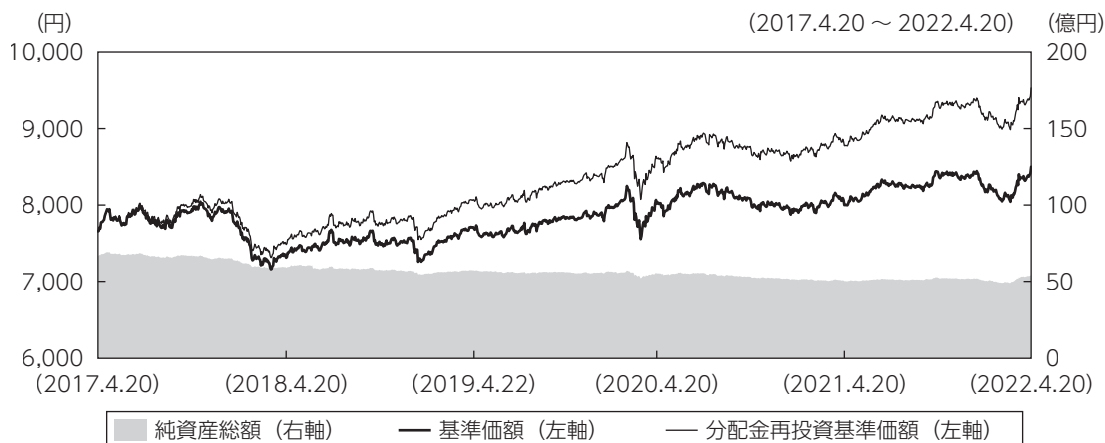
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

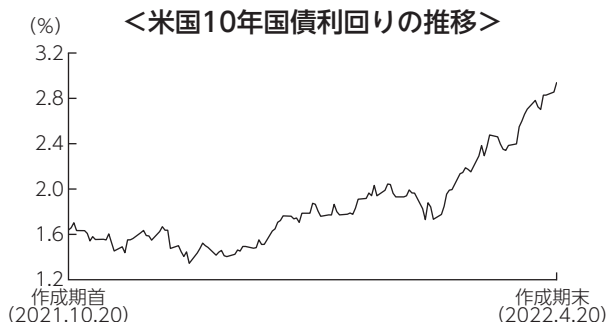


- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年4月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

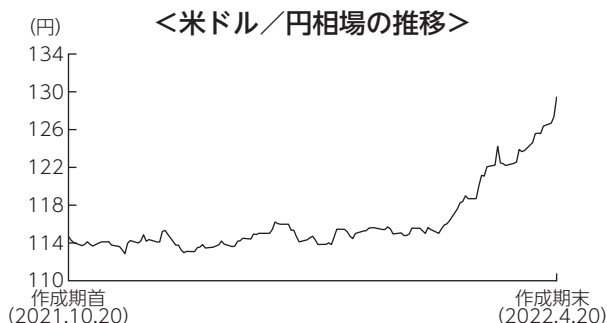
	2017年4月20日 期首	2018年4月20日 決算日	2019年4月22日 決算日	2020年4月20日 決算日	2021年4月20日 決算日	2022年4月20日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	7,656	7,311	7,696	8,022	7,999	8,501
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△2.2	7.8	6.7	2.0	8.6
参考指数の騰落率 (%)	—	△2.0	9.3	8.1	0.1	9.5
純資産総額 (百万円)	6,689	5,896	5,716	5,524	5,018	5,448

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はブルームバーグ・米国政府/クレジット指数 (為替ノーヘッジ・円ベース) です。参考指数については後掲の「当ファンドの参考指数について」をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています。

投資環境



(注) 値は前営業日のものを用いています。



米国国債市場は下落（利回りは上昇）しました。作成期前半は、インフレ圧力の高まりなどが下落要因となった一方で、新型コロナウイルスの新たな変異株に対する不透明感などが上昇要因となり、一進一退で推移しました。作成期後半は、F R B（米連邦準備制度理事会）による金融政策早期引締め観測が高まったことなどから下落し、作成期を通じては下落しました。

米国の投資適格社債市場は下落しました。金融会社や銀行セクターを中心に信用スプレッドが拡大したことや、米国債利回りの上昇が下落要因となりました。

米ドルは対円で上昇しました。

作成期前半は、概ね横ばいで推移しました。その後は、新型コロナウイルスの新たな変異株をめぐる過度な懸念の後退などから上昇しました。作成期末にかけては、米金融政策の早期引締め観測に伴う米国金利の上昇の動きにつれ上昇し、作成期を通じては上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

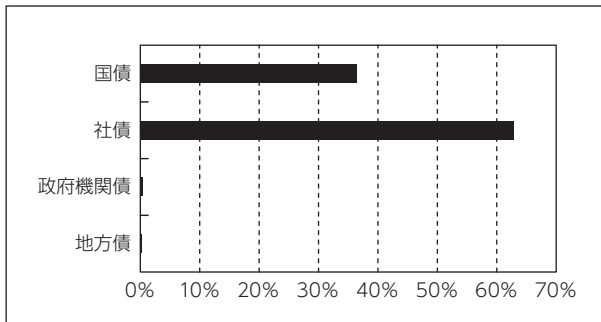
「ルーミス米国投資適格債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお、実質組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

●ルーミス米国投資適格債券マザーファンド

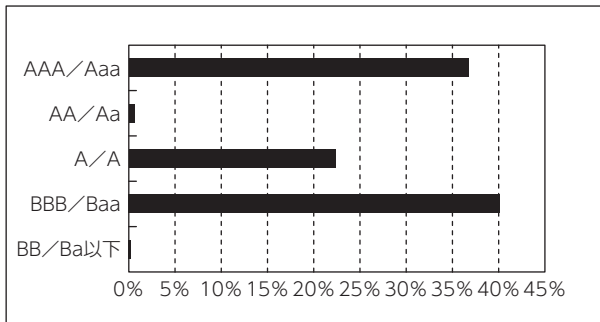
米国の米ドル建て投資適格債券に投資を行い、個別銘柄の選別により分散されたポートフォリオの構築を行いました。当作成期末時点における債券の組入比率は、国債を4割程度、普通社債を6割程度とし、組入比率を高位に維持しました。ファンド全体の加重平均格付については、当ファンドの運用の基本方針に従い、A格以上を維持しました。上記の通り運用を行った結果、米ドルが対円で上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

作成期末

【種別保有比率】



【格付別保有比率】



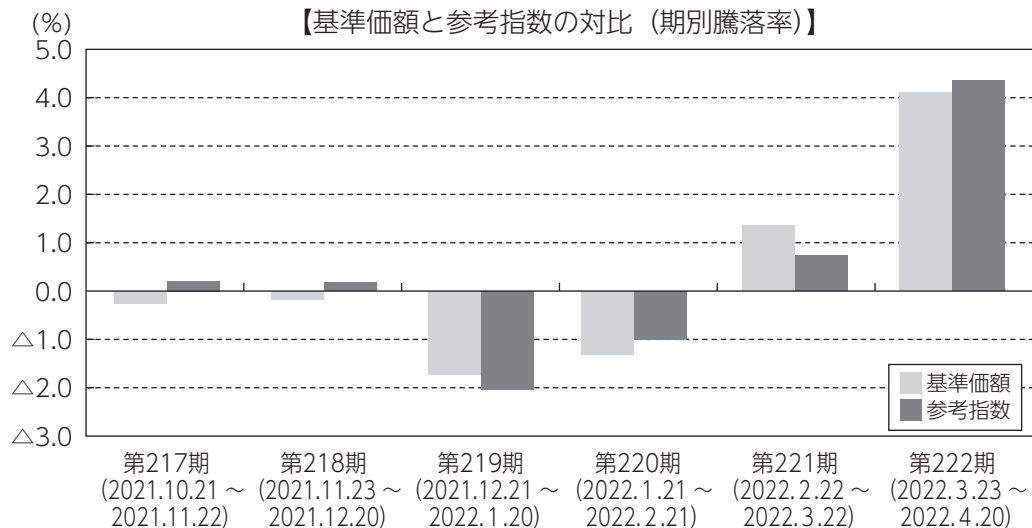
(注) 比率はルーミス米国投資適格債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをを用いています。

(注1) 比率はルーミス米国投資適格債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをを用いています。

(注2) 格付はS & P、Moody'sの高いほうの格付を採用しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、利息収入相当分を中心とし、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第217期	第218期	第219期	第220期	第221期	第222期
	2021年10月21日 ~2021年11月22日	2021年11月23日 ~2021年12月20日	2021年12月21日 ~2022年1月20日	2022年1月21日 ~2022年2月21日	2022年2月22日 ~2022年3月22日	2022年3月23日 ~2022年4月20日
当期分配金（税引前）	15円	15円	15円	15円	15円	15円
対基準価額比率	0.18%	0.18%	0.18%	0.19%	0.18%	0.18%
当期の収益	9円	9円	8円	9円	15円	15円
当期の収益以外	5円	5円	6円	5円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	166円	160円	154円	149円	153円	159円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「ルーミス米国投資適格債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

●ルーミス米国投資適格債券マザーファンド

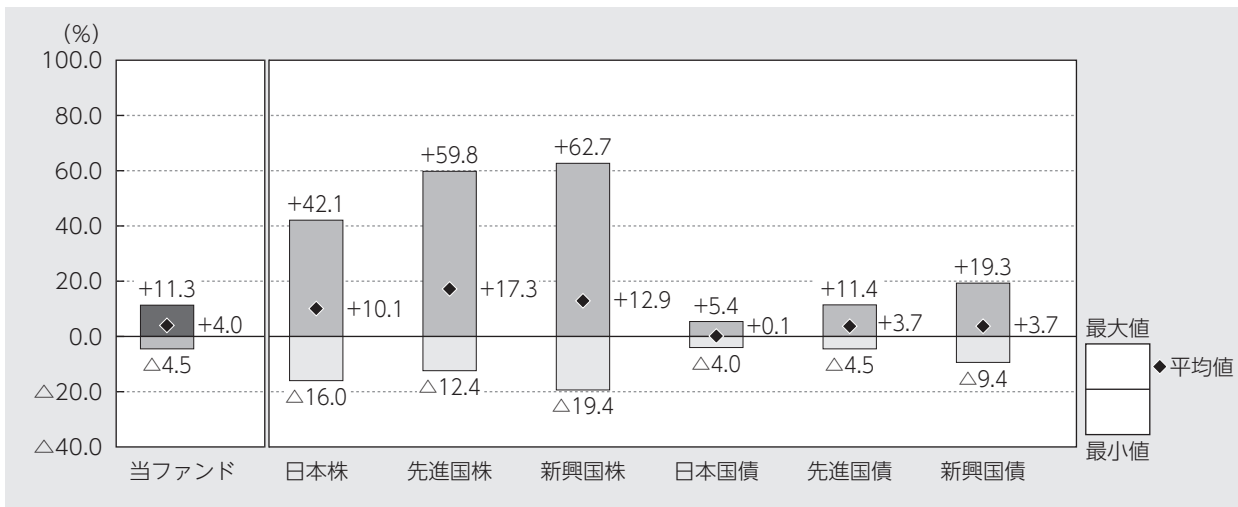
米国経済は、引き続き良好な環境が続いています。ただし、ウクライナ情勢をめぐる警戒感が継続していることや、米国の金融政策正常化に伴う利上げの実施観測などを背景とした利回り上昇（価格は下落）には引き続き留意します。

引き続き発行体のクオリティを重視しつつ米国の米ドル建て投資適格債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2003年10月31日から無期限です。	
運用方針	主として米国の米ドル建て公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	ルーミス米国投資適格債券ファンド [毎月決算型]	ルーミス米国投資適格債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ルーミス米国投資適格債券マザーファンド	主として米国の米ドル建て公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>投資を行う公社債の格付けについては、原則として取得時においてBBB-（Baa3）格以上の格付けを有する公社債に投資を行うとともに、ファンド全体の加重平均格付けをA-（A3）格以上に維持します。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>ルーミス米国投資適格債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。</p>	
分配方針	<p>第3期以降の毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利息収入相当分を中心とし、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>なお、売買益については、原則として毎年6月および12月の決算時に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合ならびに委託会社が基準価額の水準、市況動向を勘案したうえで、分配を見送る場合があります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年4月～2022年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPMオルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2022年4月20日現在)

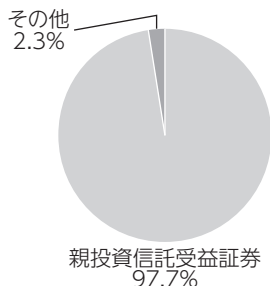
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	第222期末
	2022年4月20日
ルミス米国投資適格債券マザーファンド	97.7%
その他	2.3

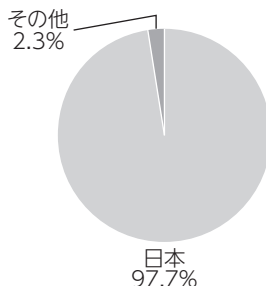
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

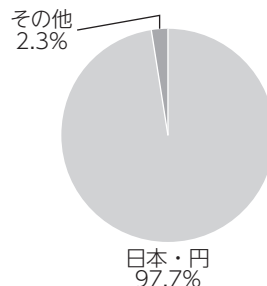
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

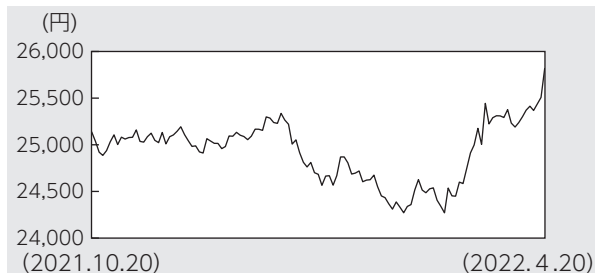
項目	第217期末	第218期末	第219期末	第220期末	第221期末	第222期末
	2021年11月22日	2021年12月20日	2022年1月20日	2022年2月21日	2022年3月22日	2022年4月20日
純資産総額	5,195,620,805円	5,177,655,299円	5,050,029,685円	4,922,010,536円	5,080,407,810円	5,448,631,535円
受益権総口数	6,185,851,168口	6,186,945,871口	6,151,716,188口	6,086,704,902口	6,210,531,372口	6,409,423,730口
1万口当たり基準価額	8,399円	8,369円	8,209円	8,086円	8,180円	8,501円

(注) 当作成期間 (第217期～第222期) 中における追加設定元本額は410,698,079円、同解約元本額は236,550,925円です。

組入ファンドの概要

【ルーミス米国投資適格債券マザーファンド】（計算期間 2021年10月21日～2022年4月20日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

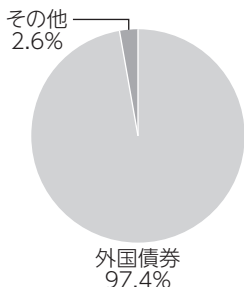
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 4.25 11/15/40	アメリカ・ドル	9.2%
US T N/B 2.375 03/31/29	アメリカ・ドル	4.0
US T N/B 2.0 11/15/41	アメリカ・ドル	2.6
US T N/B 3.75 11/15/43	アメリカ・ドル	2.5
US T N/B 1.875 02/28/29	アメリカ・ドル	2.4
US T BILL 01/26/23	アメリカ・ドル	2.0
US T N/B 0.125 09/15/23	アメリカ・ドル	1.8
CONAGRA BRANDS INC 8.25 09/15/30	アメリカ・ドル	1.8
TELEFONICA 8.25 09/15/30	アメリカ・ドル	1.4
PUBLIC SERVICE ENTERPRIS 8.625 04/15/31	アメリカ・ドル	1.4
組入銘柄数	238銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

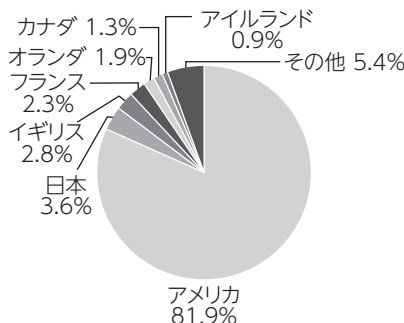
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	5円 (5)	0.020% (0.020)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	5	0.020

期中の平均基準価額は24,925円です。

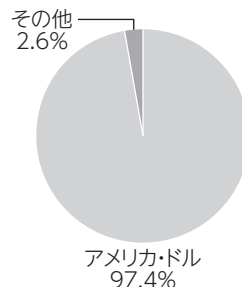
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 国別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●ブルームバーグ・米国政府／クレジット指数（為替ノーヘッジ・円ベース）

「Bloomberg®」およびブルームバーグ・米国政府／クレジット指数（為替ノーヘッジ・円ベース）は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントOne(株)による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne(株)とは提携しておらず、また、ルームス米国投資適格債券ファンド [毎月決算型] を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ルームス米国投資適格債券ファンド [毎月決算型] に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

